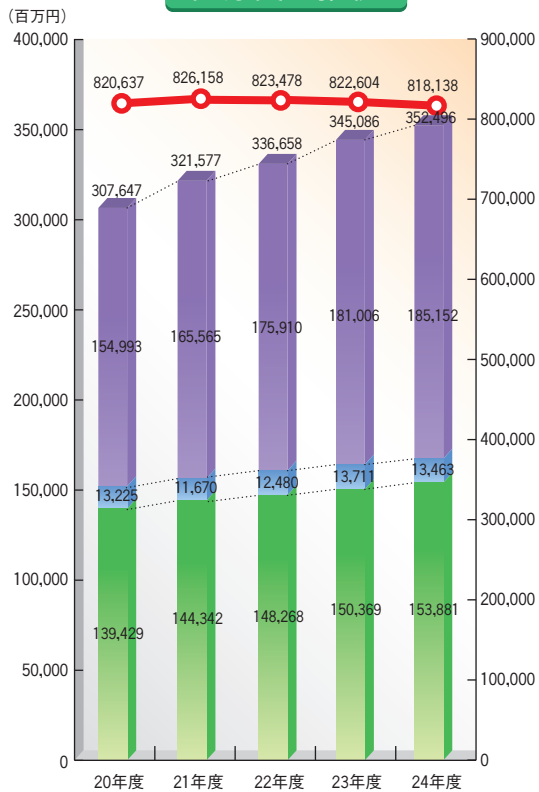


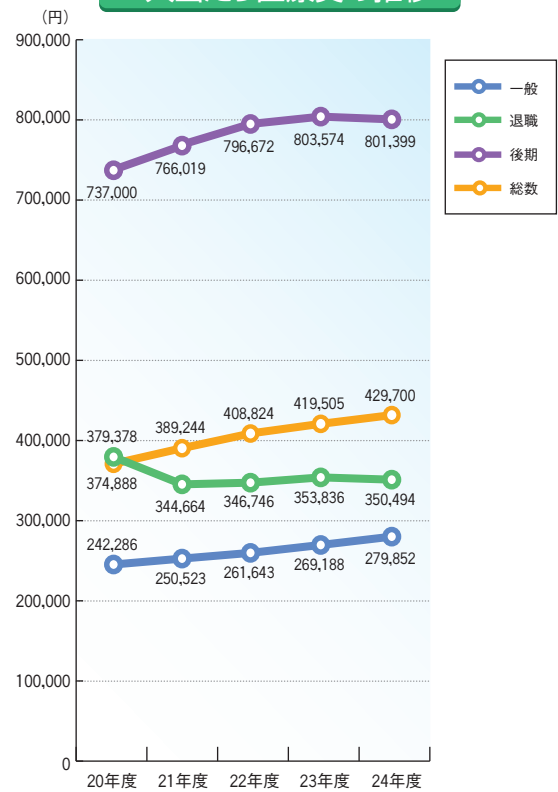
栃木県



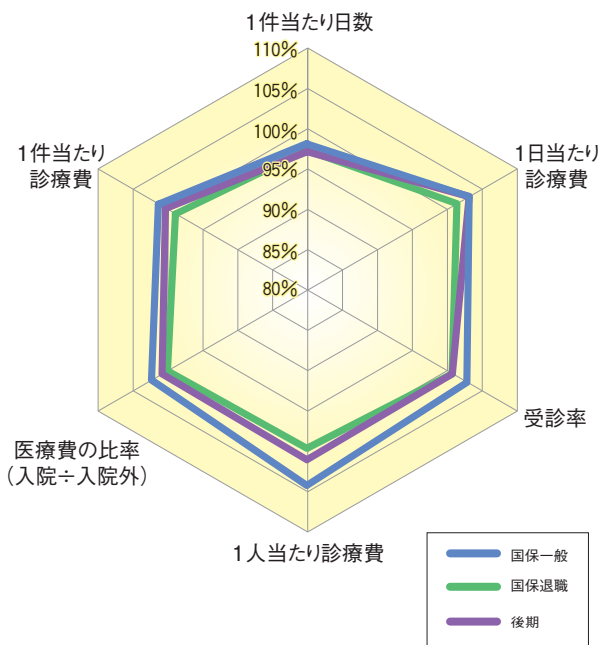
医療費の推移



1人当たり医療費の推移

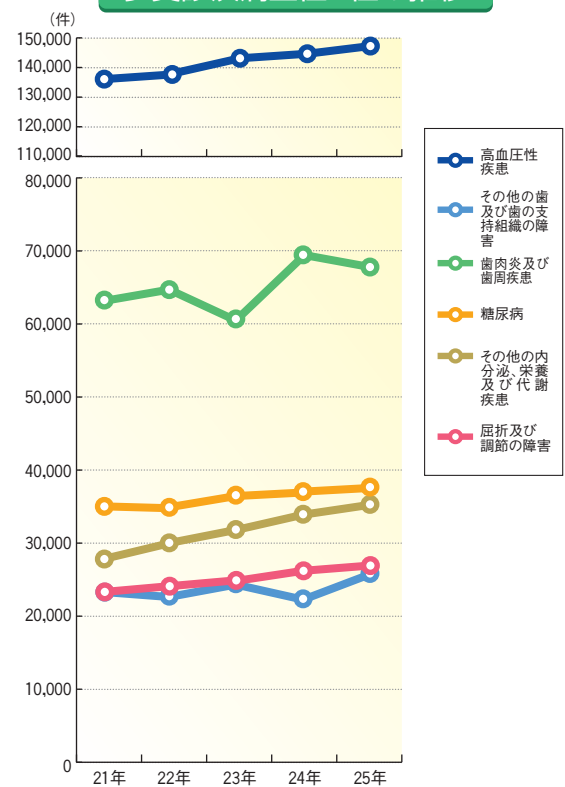


平成24年度 3要素と医療費諸費(前年度比)

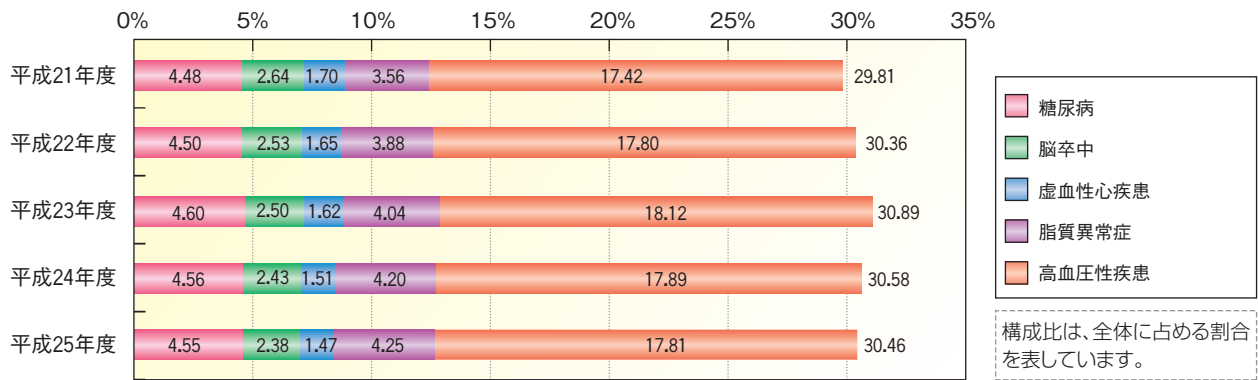


このグラフは、諸率を前年対比して得た値をレーダーチャートにしたものです。

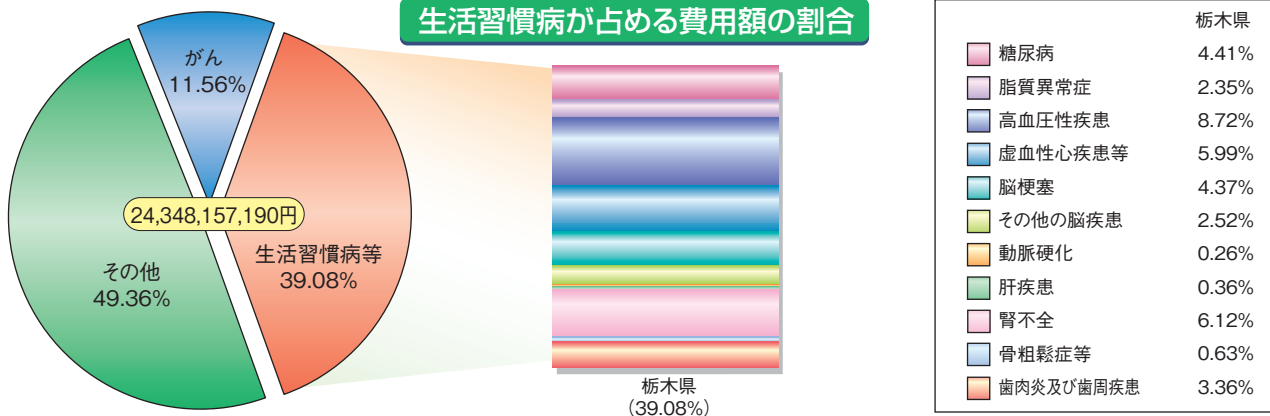
多受診疾病上位6位の推移



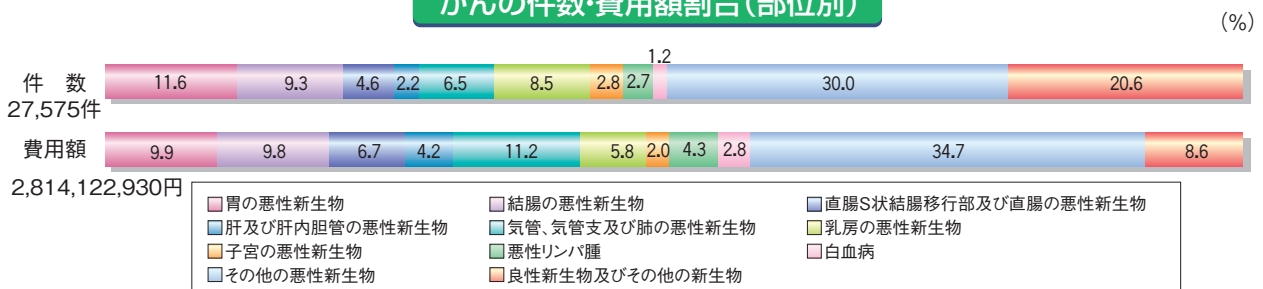
生活習慣病5年間の件数の推移(構成比)



生活習慣病が占める費用額の割合



がんの件数・費用額割合(部位別)



栃木県の状況

★医療費の状況及び被保険者数

平成24年度の医療費(療養諸費)の推移をみると、一般153,880,656千円(102.3%)、退職13,463,175千円(98.2%)、後期184,210,303千円(101.8%)で、全体では351,554,134千円(101.9%)と増加している。()は前年度との比較。

平成24年度平均被保険者数は818,138人(99.5%)で、内訳は一般549,865人(98.4%)、退職38,412人(99.1%)、後期229,861人(102.0%)である。

また、平成24年度の1人当たり医療費の推移をみると、総数は429,700円(10,195円増)、一般は279,852円(10,664円増)、退職は350,494円(3,342円減)、後期は801,399円(2,175円減)である。()は前年度との比較。

3要素(受診率、1件当たり日数、1日当たり診療費)と医療諸費の前年度比のレーダーチャートを見ると、一般、退職、後期共に1日当たり診療費の比率が伸びている。一方、1件当たり日数が減少傾向にあり、一般98.2%、退職97.3%、後期97.2%となっている。

★疾病の状況

平成25年5月診療分の件数が多い(多受診)疾病は、1位高血圧性疾患、2位歯肉炎及び歯周疾患、3位糖尿病、4位その他の内分泌、栄養及び代謝疾患、5位屈折及び調節の障害、6位その他の歯及び歯の支持組織の障害で、中でも4位のその他の内分泌、栄養及び代謝疾患は毎年増加しており、件数は平成21年と比べ1.3倍となっている。

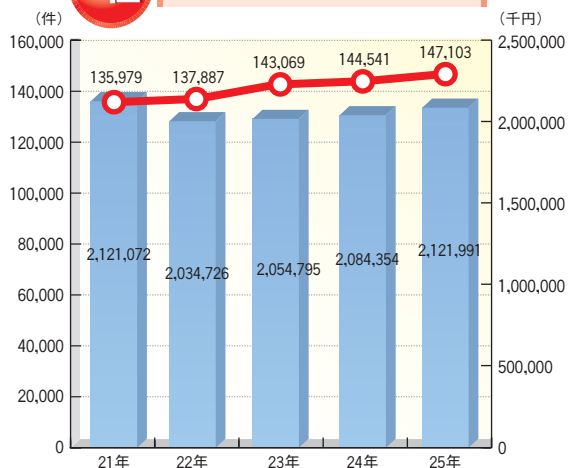
また、5大生活習慣病(糖尿病・脳卒中・虚血性心疾患・脂質異常症・高血圧性疾患)の件数の推移(構成比)をみると、脂質異常症が過去5年で最も高く、脳卒中と虚血性心疾患は過去5年で最も低い値となっている。

生活習慣病が占める費用額の割合では、平成25年5月診療分の総費用額が24,348,157,190円で、がんが11.56%、生活習慣病関連が39.08%を占めている。生活習慣病関連で占める割合が高い疾病は、高血圧性疾患8.72%、腎不全6.12%、虚血性心疾患等5.99%となっている。

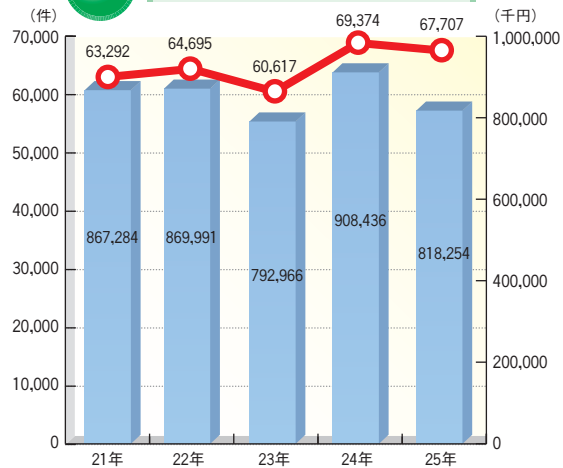
がんの部位別の件数及び費用額の割合は、その他の悪性新生物、良性新生物及びその他の新生物に分類されるものを除き、件数では、胃の悪性新生物、費用額では、気管、気管支及び肺の悪性新生物が高い割合となっている。

多受診疾病 上位6 の年次推移

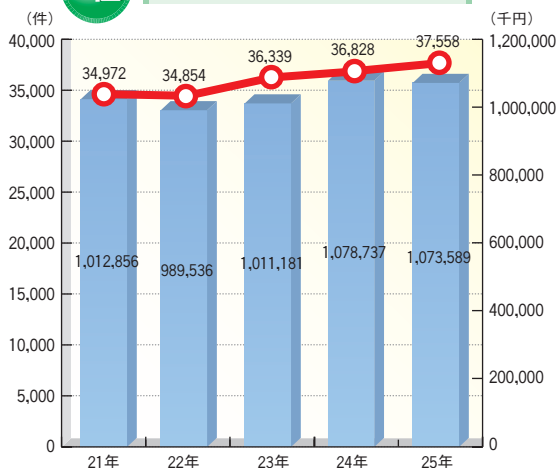
1位 高血圧性疾患



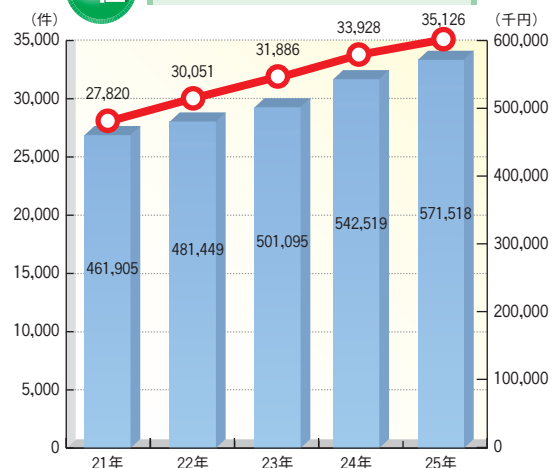
2位 歯肉炎及び歯周疾患



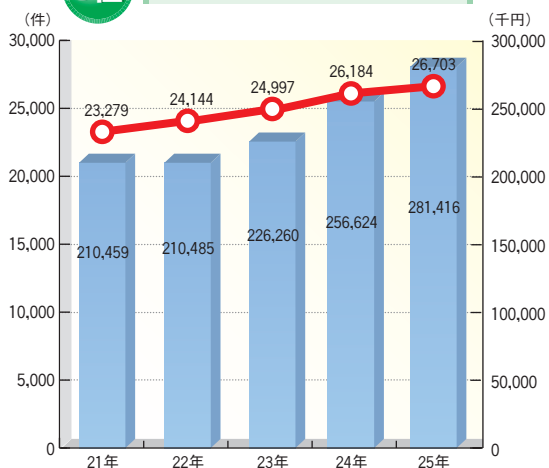
3位 糖尿病



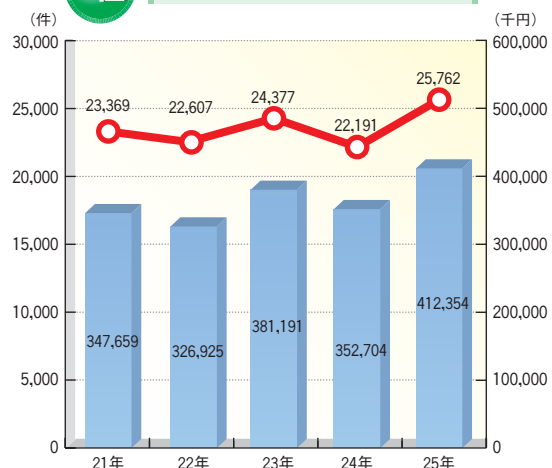
4位 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患



5位 屈折及び調節の障害



6位 その他の歯及び歯の支持組織の障害



受診率と1人当たり診療費の相関図

